

下水道広報プラットフォーム（GKP）
第 79 回 企画運営委員会

日時 令和 5 年 8 月 21 日(月) 15 時 00 分～

場所 オンライン

議題

1. 理事会および総会の情報共有（30 分）

資料 1 ～ 9

2. 収入増加に向けたアクションについて（60 分）

資料 10

＜決めること＞

理事会等で挙げられている収入拡大案について、

- ・ 方策の是非
- ・ 実行する場合の問題点、役割分担、時期など

3. 新たなマネジメント体制の検討状況と今後（20 分）

検討状況は議題 1 の資料で説明。

コアメンバー（タスクフォース）の構成を改めて確認。

プロジェクト委員会（企画運営委員会）の開催のあり方（開催のタイミング、内容など）を議論。

プロジェクト委員が全員関わることとなるコミュ研、広報大賞について。

4. その他（10 分）

以上

令和 5 年 6 月 6 日（火） 理事懇談会 整理

日時：令和 5 年 6 月 6 日（火） 13 時 30 分～15 時

場所：「Zoom」によるリモート会議

出席者：

<理事会>

長岡裕会長、中村靖副会長、渡辺志津男副会長、塩路勝久理事、頼あゆみ理事、小林由夏理事、岡久宏史アドバイザー、栗原秀人アドバイザー

<企画運営委員会>

堂菌洋昭委員長、新倉浩副委員長、荒井健委員、田中文彦委員、田中聡委員、奥田早希子委員、畑楠晃平委員

<事務局>

奥野修平氏、鎗田篤治氏、中山勲

G K P の現状

予算	会員数の減少	前年度より団体6減、個人25減	予算の ひっ迫	→ 持続可能性に課題
	サーバー移行に伴う大きな支出	R4約100万円、R8迄で300万円強		
組織	担い手の不足	メンバーが固定化		
	全体のマネジメント機能の欠如	PJの評価なされず、新たな企画も生まれない		
	依然として大きい事務局の負担	役割分担、ルール化等に改善の余地		

※資料1「GKP 会員数の推移」

※資料2「GKP 予算シミュレーション」

議題1：持続可能なG K Pに向けて

「今後のG K Pの進め方について（案）」（令和2年6月24日の理事会に提出）をベースに、上記の課題を整理して新たなG K P体制の構築をめざす。

<ポイント>

1.	G K P の状況判断・企画力強化	<u>「タスクフォース」の新設を検討</u> 。各PJの意見や課題等を吸い上げて、G K P 全体の企画・運営・プロジェクトの加速化を支援する。 ※資料3「今後のG K P マネジメント体制案」
2.	プレーヤー（アプリ）と事務局（OS）の関係・役割整理	プレーヤーと事務局の <u>役割分担を明確化し、運用ルールを整備</u> 。 ※資料4「G K P 業務分担案」
3.	プロジェクトの再整理	アプリの性質を踏まえてプロジェクトを再整理。 <u>ミドルウェア的な役割</u> を持つ「コミュニティ研究会」と「広報大賞」は <u>企画運営委員が担うこととし、予算は事業事務費に計上</u> する。 資料5「プロジェクトの再整理」
4.	PJ の成果・進捗度の把握、成熟度・自立度の評価判断	持続可能なG K P をめざして、各種プロジェクトの <u>評価のあり方</u> とそれに伴う <u>予算の配分方法、新陳代謝の促進と新たな担い手の加入・育成等</u> について引き続き検討を進める。
5.	収入の拡大	<u>個人・団体会員の増加に努める</u> とともに、新たな収入を得る方策として、 <u>マンホールカード検索サイトへの広告掲載</u> を検討する。 ※資料6「収入拡大について」

上記ポイントについて、理事会の皆さまより忌憚のないご意見を伺い、今年度内に方針を固める。

議題2：今後の予算編成の方針

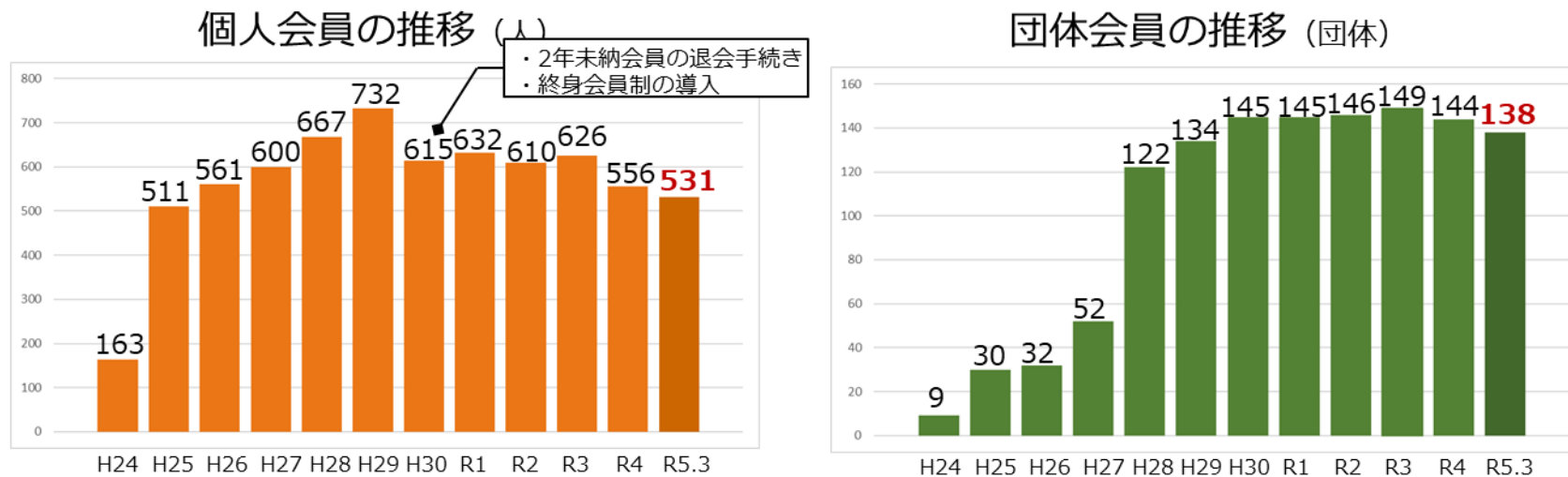
令和5年度の予算編成にあたり、予算配分のベーシックな基準を明確化し、それに基づいてプロジェクト毎の予算項目の見直しと圧縮を進めた。

その結果、令和5年度予算は前年度との比較で約3割減となる見通し。

令和5年度以降については、議題1の3.に記した「プロジェクトの成果・進捗度の把握、成熟度・自立度の評価判断」を適正な予算配分に反映するための方法論等について、さらに深く議論することとする。

※資料7「今後の予算編成の方針」

GKP 会員数の推移



個人会員は、令和3年度から4年度にかけて70名減少。さらに、令和5年3月末時点で25名減少し、531名となった。

団体会員は、令和3年度から4年度にかけて5団体減少。さらに、令和5年3月末時点で6団体減少し、138団体となった。

コロナの影響が考えられる一方、退会理由として以下の回答があった。

「会員としての活動理由がなくなったため」(企業 A)

「入会している意味がないため」(企業 B)

下水道広報プラットホーム（GKP）収支シミュレーション

1. 一般会計
(収入の部)

項 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	令和6年度予算案	令和7年度予算案	令和8年度予算案	令和9年度予算案	令和10年度予算案
1. 前期繰越金	3,822,558	4,637,229	1,569,558	417,276	(1,219,006)	(2,371,288)	(4,007,570)
2. 未収会費	66,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
個人会員（令和3年度分）	36,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
団体会員	30,000	0	0	0	0	0	0
3. 年会費	5,200,000	5,311,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000
個人会員（終身会員を除く）	250,000	301,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
個人会員（終身会費）（C）	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
団体会員	4,650,000	4,710,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000
4. 普通預金利息	0	100	0	0	0	0	0
5. 特別会計からの繰入金	0	1,430,000	0	0	0	0	0
計（A）	9,088,558	11,478,329	6,869,558	5,717,276	4,080,994	2,928,712	1,292,430

(支出の部)

項 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	令和5年度予算案	令和6年度予算案	令和7年度予算案	令和8年度予算案	令和9年度予算案
1. 総会費	200,000	200,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
2. 役員会（理事会）費	200,000	200,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
3. 企画運営委員会費	200,000	400,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
4. 事業活動費	3,104,000	4,456,000	3,104,000	3,104,000	3,104,000	3,104,000	3,104,000
1) G K P 広報大賞	160,000	230,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
2) 地方活動支援	150,000	200,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
3) 未来会	380,000	800,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000
4) 水の天使	0	100,000	0	0	0	0	0
5) マンホールサミット	315,000	0	315,000	315,000	315,000	315,000	315,000
6) キッチンバス工業会連携	110,000	207,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
7) マンホールカード	110,000	170,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
8) コミュニケーション研究会	70,000	100,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
9) 東京湾大感謝祭	150,000	500,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
10) BISTRO 下水道	382,000	460,000	382,000	382,000	382,000	382,000	382,000
11) 下水道プロモーション活動費	270,000	364,000	270,000	270,000	270,000	270,000	270,000
12) 市民科学	0	100,000	0	0	0	0	0
13) インフラテクコン	67,000	85,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000
14) 早慶レガッタ	130,000	140,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
15) エコプロ	700,000	1,000,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
16) 下水道展	110,000	10,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
5. 事務委託費	2,283,000	1,720,000	2,283,000	2,283,000	2,283,000	2,283,000	2,283,000
6. 事業事務費	1,232,000	2,214,982	715,282	1,199,282	715,282	1,199,282	1,199,282
事務費（名刺作成費等）	400,000	1,210,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
ホームページ更新費	832,000	1,004,982	315,282	799,282	315,282	799,282	799,282
計	7,219,000	9,190,982	6,252,282	6,736,282	6,252,282	6,736,282	6,736,282
7. 終身会費への積立金	300,000	700,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
計（B）	7,519,000	9,890,982	6,452,282	6,936,282	6,452,282	6,936,282	6,936,282
収 支 差 額（A）－（B）	1,569,558	1,587,347	417,276	-1,219,006	-2,371,288	-4,007,570	-5,643,852

↑ 予備費

※終身会費はR5～は20名が加入するとして仮定する。

今後のGKPマネジメント体制について（案）

（1） 定義・背景・課題

① GKP の目的を達成するための役割【定義】

【役割】

- ・これまで下水道界で展開されてきた広報活動を外部につなぐ
- ・産官学の垣根を超えた新たな広報活動を展開する下水道界のプラットフォーム

【目的】 規約第2条

「下水道は暮らしや社会経済を支えている私たちの財産です。この財産を未来に引き継ぎ、活かしていくためには、利用者である国民一人ひとりに下水道の理解を深めてもらう必要があります」（規約より）

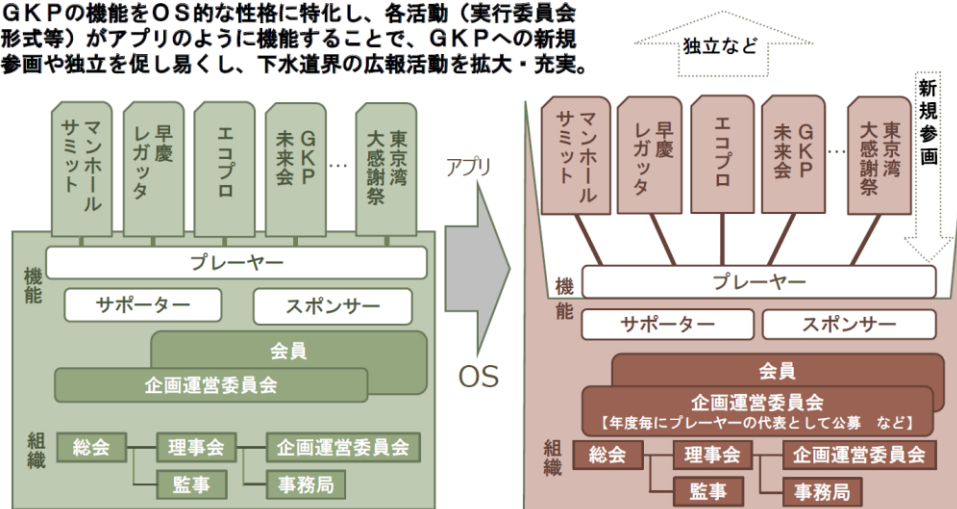
② GKP のマネジメントについての整理【背景】

- ・プレーヤーの自主性（自立化）と事務局の負担軽減を図るため

「GKPの今後の進め方について」（令和2年6月）による OS とアプリの関係を整理

OGKP機能の見直しの考え方について

GKPの機能をOS的な性格に特化し、各活動（実行委員会形式等）がアプリのように機能することで、GKPへの新規参画や独立を促し易くし、下水道界の広報活動を拡大・充実。



③ GKP 運営上の課題

- ・具体的な業務の明記や細部の規定がないため、人によって解釈が異なり連携に繋がっていない

【GKPがOSとして各活動（アプリ）に提供できる機能・効果事例】「GKPの今後の進め方について」より
企画運営委員会などの場を通じた連携拡大による活動内容や対外的訴求効果の充実

GKP会員による支援（活動予算、人的支援など）

GKPのHPでの情報発信など事務局的功能の支援

GKPの名で活動することによるマスコミ等への訴求効果、集客力の向上効果

- ・実質的な企画・運営は誰が行うのか？

・取組の自由度を持たせることは重要、しかし、実質の企画運営はどのように行うのか？

・最終責任を負うのは会長、委員長なのか？

（2） GKP の進化・成熟化に向けた調整

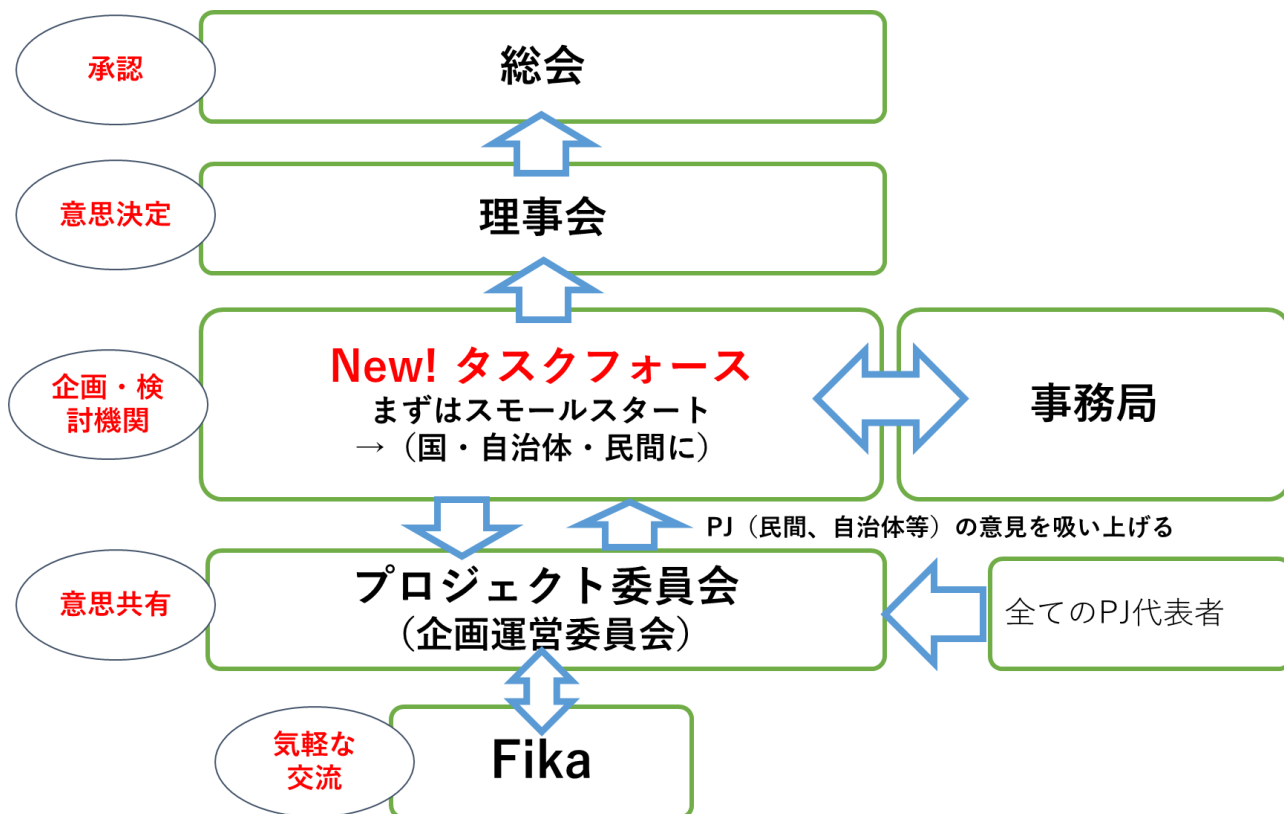
- ・GKP の状況判断・企画力強化
- ・「プレーヤーチーム（アプリ）」と「事務局（OS）」の関係、具体的な取組内容
- ・プロジェクトの再整理
- ・PJの成果・進捗度の把握・成熟度・自立度の評価・判断
- ・収入拡大 等について、議論していく必要がある

●GKP マネジメント体制（案）

従来の企画運営委員会を「プロジェクト委員会」（意志共有の場）に変更

タスクフォースを、まずはコアメンバー会議のようなイメージでスモールスタート

これにより、GKP のエンジンを強化し、産官学の垣根を超えた広報活動を一層力強く推進



タスクフォースについて

現行の企画運営委員会から「コアメンバー」を選抜し、タスクフォースを構成。

企画運営委員長にあたるポスト（国交省事業調整官）を除いて、特定組織の役職に紐づけてタスクフォースの人選を行うのではなく、その時々で熱量の高いメンバーに声をかけて協力してもらうことを検討。

プロジェクト委員会について

プロジェクト間で意志・情報の共有を図る場。プロジェクトの代表者が持ち回りで開催する。

Fika について

ティータイムのように、自由に、気楽に集まって話し合う場。誰でも開催できる。

事務局について

事務局は、予算の取り扱いや総会等の開催に向けた調整・手続きなど、事務関連業務を担う。

プロジェクト委員会の運営には関わらない一方、タスクフォースと連携し、プロジェクトが抱える課題に対して、事務局業務の範囲内でその解決を支援する。

GKP の状況把握・判断・企画力強化について

コアメンバーを中心としたタスクフォースが、プロジェクト間の意志・情報共有を図るプロジェクト委員会やグループメール等で共有される情報を基に、うまくいっていない活動等について指摘や助言、改善の手伝いなどを行う。

また、成熟度の高いプロジェクトの成果等を踏まえて、他団体・他業界への横展開の後押しや、新しい企画の立案などを行う。

プレーヤー（アプリ）と事務局（OS）の関係、具体的な取り組み内容について

アプリと OS の役割は、「下水道広報プラットフォーム業務分担案」（資料 4 参照）が基本。

本資料 1 ページ目のポンチ絵（GKP 機能の見直しの考え方について）の右側の絵のツノ（プレーヤーにを支える突起）の部分は、上記業務分担に書ききれない（事前に想定できない）プロジェクトに対するサポート等に当たるが、これはタスクフォース内で誰が動くのかをその都度判断する。

例えば、事務局業務の範囲内で対応できることであれば事務局が対応し、それ以外は各コアメンバーの状況（スキル、時間的余裕など）を見て決める。

プロジェクトの成果・進捗度の把握・成熟度・自立度の評価・判断について

タスクフォース（コアメンバー）は常に GKP 全体に目を配り、各プロジェクトが置かれている状況を把握する。

問題が見受けられる場合、その解決につながるプラン（例えば他プロジェクトと連携することによる効果増大など）を当該プロジェクトと共に考える。また、プロジェクト推進上で悩んだプロジェクトには積極的に「Fika」を活用してもらい、問題の早期解決を図る。

今後のスケジュール

新たなマネジメント体制を令和 5 年度内にまとめる。

その後 1 年間かけて試行的に運用し、必要があれば令和 7 年度総会での定款改定をめざす。

■理事懇談会 ご意見・ご質問

（質問）

- ・ 新体制案に示されている「プロジェクト委員会」は、現行の企画運営委員会とどう違うのか？
また、どのようなメンバーを想定しているか？

（回答）

- ・ 企画運営委員会の本来の役割であるマネジメント機能をタスクフォースに移し、「プロジェクト委員会」はプロジェクトの代表者が集まって情報や意思の共有を図る場とする。
メンバーについては、自治体の方を含めてどのような構成にするか、まだ議論できていない。

（質問）

- ・ タスクフォースがすでに始動しているとのことだが、担い手は揃っているのか？また、サステイナブルか？

（回答）

- ・ 熱意の高い人 6～7 名に声をかけてタスクフォースを立ち上げた。持続可能性については、運用しながら検討していきたい。

(質問)

- ・ マンホールカードは、マンホールサミットのプロジェクトの中に組み込まれているのか？

(回答)

- ・ マンホールカードとサミットは、それぞれ個別のプロジェクトで動いている。それ以外のプロジェクトも基本的に個々の活動となるが、相性の良いものは連携によってより大きな成果を上げることができると考えており、その方策についてもタスクフォースを軸に検討していきたい。

(意見)

- ・ 広報大賞をしっかり位置付けてもらえると有難い。
- ・ 体制の議論の前に、今後のG K Pがどうあるべきかを議論する必要がある。また、収入の議論も重要である。
- ・ 広報には熱意が欠かせない。地方公共団体や企業に協力をお願いする場合、熱い思いをもって広報に取り組んでいる個人に対し、例え部署が変わっても継続的に引き受けてもらえるよう申し入れをすることが重要。
- ・ G K P事務局は日本下水道協会の正式な仕事ではなく、ボランティアである。協会独自の広報も強化していかなければならない中、G K Pに割ける人員が限られる点をご理解いただき、今後の事務局のあり方を検討していただきたい。

GKP 業務分担（案）

大項目	中項目	担当		
		プロジェクト	事務局(下協)	事務局(補)
総会・役員会・理事会	資料作成－プロジェクト毎の報告まで	●	○	○
	資料作成－全体取りまとめ			●
	予算決算資料－プロジェクト毎	●		
	予算決算資料－全体取りまとめ		●	
	開催準備－会議室予約		●	
	開催準備－開催案内状の作成、発送		○	●
	開催準備－出欠管理			●
	開催準備－会場準備と片付け		●	●
企画運営委員会	開催準備－出欠管理			●
	委員会資料の収集及び整理			●
	委員会資料のHPアップデート			●
	議事録作成			●
	議事録の送付及び次回委員会案内			●
プロジェクト関連	全般－問合せ対応（電話、メール）	●		
	開催準備－会議室予約	●		
	開催準備－開催案内状の作成、発送	●		
	開催準備－出欠管理	●		
	開催準備－宿泊先手配	●		
	開催準備－名札、表札作成	●		
	開催準備－会場準備と片付け	●		
	会議等－資料の作成、準備、印刷等	●		
	会議等－当日の進行	●		
	清算関連－領収書等の証拠書類準備	●		
予算、報告関連	各種ひな形の作成		○	●
	実施報告及び計画関連－資料作成	●		
	実施報告及び計画関連－取りまとめ			●
	収支報告及び収支計画関連－資料作成	●		
	収支報告及び収支計画（案）－取りまとめ		●	
	委員会用等の資料作成		○	●
事務関連	問合せ対応（電話）※一時対応のみ		●	
	委員委嘱－新規委嘱		●	
	委員会旅費・謝金支払－支出負担行為作成		●	
	委員会旅費・謝金支払－支払明細書の発行		●	
	清算関連－支払情報の管理		●	
	清算関連－支出負担行為作成－口座振込		●	
	清算関連－支出負担行為作成－納付書対応		●	
	清算関連－支出負担行為作成－請求書対応		●	
	清算関連－支払明細書作成		●	
	清算関連－支払明細書送付		●	
	GKP会員証－会員データの管理		●	
	GKP会員証－会員証の作成			●
	代表アドレス管理－各担当者への振り分け			●
	代表アドレス管理－代表への問い合わせ対応		●	
	ホームページ掲載原稿の作成	●		
	ホームページ更新			●
	メールマガジン掲載原稿の作成	●		
	メールマガジン送信		●	

※●…主担当、○…副担当

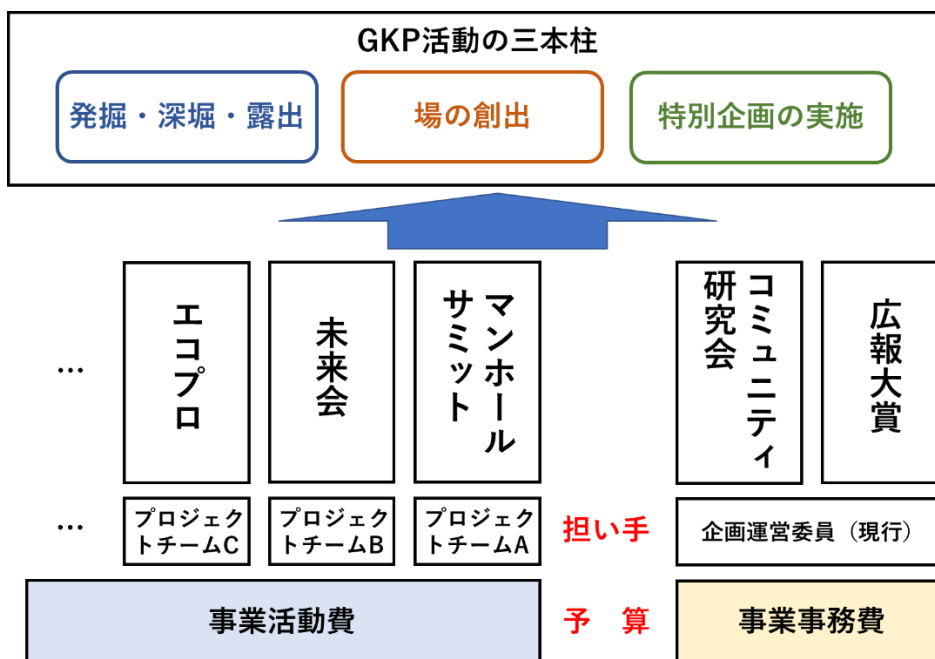
プロジェクトの再整理

アプリケーションには、業務の遂行に特化したアプリケーションのほか、OS とアプリケーションの間を橋渡しするミドルウェアがある。

GKP にも、下水道広報を展開するプロジェクト（業務の遂行に特化したアプリケーション）のほか、会員の広報技術向上や情報交流等によってアプリの推進力を高める目的を有する「コミュニティ研究会」、情報データベースとしての役割を担う「GKP 広報大賞」がある。

従前はこれらを GKP のプロジェクトとして一括りにしていたが、OS とアプリケーションの関係を安定的かつ持続的に維持するため、担い手や予算を焦点として、以下の通り再整理する。

- **広報活動の推進（広報を展開するプロジェクト）**
担い手：各プロジェクトが調達
予 算：毎年度の実績等を踏まえて要求額を査定し、事業活動費から配分）
- **アプリの推進力向上：（コミュニティ研究会）**
担い手：現行の企画運営委員が全員で運営に当たる
予 算：事業事務費に計上
- **情報データベース：（GKP 広報大賞）**
担い手：現行の企画運営委員が全員で運営に当たる
予 算：事業事務費に計上

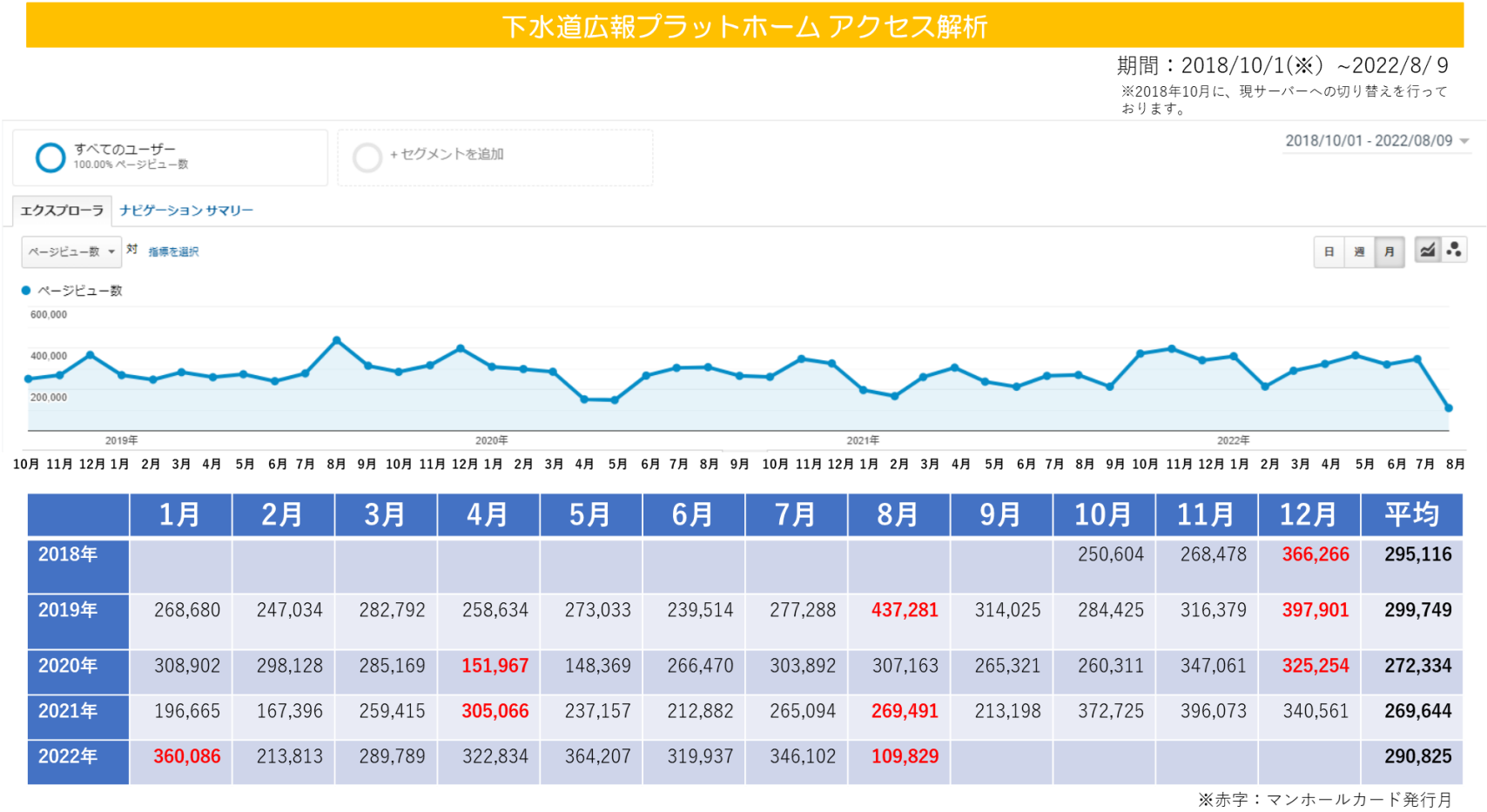


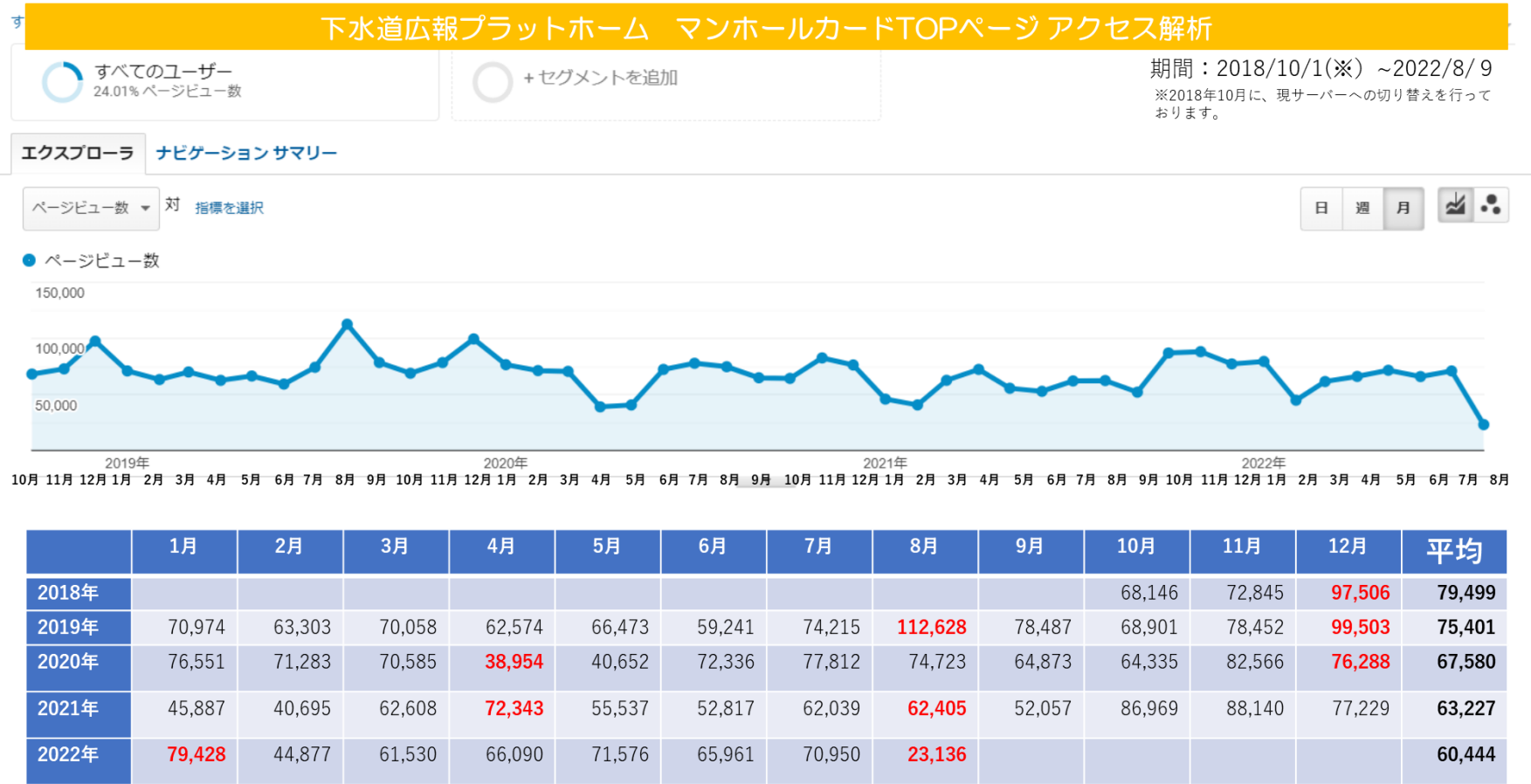
■理事懇談会 ご意見

- ・「今後のGKPマネジメント体制案（資料3）」と「プロジェクトの再整理（資料5）」は順番が逆ではないか。資料5を上位の概念として説明していただいた上、具体的な方法論として資料3を示していただくと分かりやすい。
- ・今までOSに例えてGKPのあり方が議論されていたが、実際にOSがやっていることは複雑である。今回示された資料5の絵から、OSとアプリの関係ではなくショッピングモールのテナントと直営店に置き換えて考えたほうが分かりやすいのではないかと感じた。

収入拡大について ～GKP サイトへの広告掲載（広告媒体としての価値）の検討～

※当データは、サイバー攻撃によるサーバーダウンが生じた昨年 8 月初旬までのログを基に作成。





※赤字：マンホールカード発行月

下水道広報プラットフォーム 上位ページ

期間：2018/10/1(※) ~2022/8/9
※2018年10月に、現サーバーへの切り替えを行っております。

<input type="checkbox"/>	ページ ?		ページビュー数 ? ↓	ページ別訪問数 ?	平均ページ滞在時間 ?	閲覧開始数 ?	直帰率 ?	離脱率 ?	ページの価値 ?
			13,312,561 全体に対する割合: 100.00% (13,312,561)	10,199,716 全体に対する割合: 100.00% (10,199,716)	00:02:14 ビューの平均: 00:02:14 (0.00%)	5,020,630 全体に対する割合: 100.00% (5,020,630)	43.30% ビューの平均: 43.30% (0.00%)	37.71% ビューの平均: 37.71% (0.00%)	\$0.00 全体に対する割合: 0.00% (\$0.00)
<input type="checkbox"/>	1. /mhc		3,196,538 (24.01%)	2,095,772 (20.55%)	00:00:48	1,777,078 (35.40%)	16.43%	20.81%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	2. /		910,802 (6.84%)	601,622 (5.90%)	00:00:36	297,664 (5.93%)	30.72%	22.65%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	3. /mhc/?pref=13		795,854 (5.98%)	614,345 (6.02%)	00:04:14	297,828 (5.93%)	60.79%	50.72%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	4. /mhc/?pref=14		457,513 (3.44%)	364,425 (3.57%)	00:03:15	160,063 (3.19%)	53.29%	44.49%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	5. /mhc/?pref=11		449,182 (3.37%)	359,833 (3.53%)	00:04:19	149,611 (2.98%)	62.07%	49.27%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	6. /mhc/?pref=27		419,968 (3.15%)	331,542 (3.25%)	00:04:07	144,316 (2.87%)	59.89%	49.36%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	7. /mhc/?pref=23		354,754 (2.66%)	280,332 (2.75%)	00:04:13	127,934 (2.55%)	63.66%	51.91%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	8. /mhc/?pref=zenkoku		309,658 (2.33%)	246,129 (2.41%)	00:02:48	110,498 (2.20%)	59.15%	48.28%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	9. /mhc/?pref=22		300,422 (2.26%)	244,212 (2.39%)	00:03:50	96,275 (1.92%)	63.36%	49.97%	\$0.00 (0.00%)
<input type="checkbox"/>	10. /mhc/?pref=01		295,978 (2.22%)	244,413 (2.40%)	00:04:14	152,718 (3.04%)	74.97%	64.36%	\$0.00 (0.00%)

表示する行数: 10 ▼ 移動: 1 1 - 10/8576 ◀ ▶

このレポートは 2022/08/10 17:48:32 に作成されました - レポートを更新

日本水道新聞・日本下水道新聞 電子版広告媒体資料

電子版アクセスデータ (R3.10月～R4.7月現在)

- ・アクセスユーザー数：約 **4万**
- ・総ページ閲覧数：約 **30万**

全国の上下水道業界
関係者を中心に

※上記のデータは目安であり、数値を保証するものではありません

掲載期間	料金(税込)
1ヶ月	¥330,000
3ヶ月	¥891,000
6ヶ月	¥1,584,000
12ヶ月	¥2,772,000

1ヶ月あたり**10%**の割引

12ヶ月掲載で**30%**の割引

※料金は1枠あたりの価格です。

トップページ広告



	PC(A)	スマートフォン(B)
掲載位置	トップページ	
推奨サイズ(px)	800 × 120 以内	640 × 200
ファイル形式	jpg、png、gif	

ニュースページ広告



	PC(C)	スマートフォン(D)
掲載位置	トップページ・各ニュースページ	
推奨サイズ(px)	300 × 250 以内	640 × 100
ファイル形式	jpg、png、gif	

※広告の掲載は1枠につき最大2社となっており、広告料金は掲載企業数にかかわらず一律です。
2社掲載時はランダム表示となります。

■収入拡大に関する理事懇談会のご意見

- ・ 個人の終身会費の制度を撤廃してはどうか。
- ・ 堂菌委員長を筆頭に、協力していただけたような企業をまわって支援をお願いすることが重要。
- ・ コロナの影響で会員の交流の場が減っていたのも会員数の伸び悩みの原因の一つではないか。5 類への引き下げを機に、今年は勉強会や交流会など、会員が集まれる機会を増やしてほしい。
- ・ コロナ禍の中で入会した会員（団体）は、どういうジャンルの方が多いのか。あるいは入口（口コミ、HP など）が何なのかなど、分析を行った上で、今後の会員獲得の戦略を立てる必要がある。サイト広告の募集においても、そうした分析は欠かせない。
- ・ 改めて身内に目を向けてみることも重要。下水道界には未入会の人が多いたくさんいるので、身近な人から声を掛けてみてはどうか。
- ・ 現行の会員が一人ずつ新規会員を連れてくれば、単純計算で倍になる。そういう働きかけもあるのではないか。
- ・ 下水道協会誌に毎月のようにG K P 入会の案内記事が載っているが、構成が非常にお役所的で固いので、改善してほしい。
- ・ HP（トップページ）の入会案内のバナーが一番下に配置されていて目立たない。
- ・ 収入を増やすためには、企業からお金を集める（寄付等を含む）のが手っ取り早い。企業は今、リクルートで頭を悩ませている。G K P は、若い人と企業・自治体等をつなぐ健全なツールとしての役割を委ねられているわけなので、その原点に立ち返り、G K P のパーパスを分かりやすく示してほしい。
- ・ K P I をどこに置くのかという議論は避けて通れないと思う。例として、会員獲数による評価、ネットワークの広がり（つながった団体等の数）による評価、満足度が高い会員数の増加による評価など、具体的な指標をもって評価していく必要がある。
- ・ K P I を掲げる際、ハードルが高いものばかり並べるのではなく、救いのあるものも加えるように工夫してほしい。

今後の予算編成の方針

GKP の活動を持続可能なものとするため、予算配分の基準を明確化する。
ベーシック基準については、令和 5 年度の予算編成から適用する。

■GKP 予算配分基準について（案）

1. ベーシック基準（令和 5 年度より適用）

- ① GKP の目的（広報活動による下水道のプレゼンス向上）のため必要な予算か？
 - ② GKP 個人会員、団体会員のメリットになっているか？
- ※以下に該当する費用は除く
- ・ GKP 以外の個人・法人・団体の事業費等の支援につながる費用
 - ・ GKP 以外の個人・法人・団体の事業を広報する費用



2. 各プロジェクトの実績や評価を予算に反映するための論点（令和 5 年度に議論）

●広報活動（広報を推進するプロジェクト）

予算については下記の視点を含めて、GKP が持続できる調達や配分のあり方、予算のスリム化などの方向性を検討する。

- ・プロジェクトの展開に併せて新規会員獲得や新たな収入につながる道を検討
- ・プロジェクト協賛企業の募集、参画する自治体等における協賛金調達などを検討
- ・プロジェクト間の連携による広報資材の共有など、予算スリム化につながる方策の検討

●ミドルウェア的位置づけの事業（コミュ研・GKP 広報大賞）

- ・事業事務費に予算を計上する。
- ・現行の企画運営委員会メンバーは全員参加を原則とする。
- ・運営協力への参加のための交通費はボランティア参加（法人・団体・自治体等組織に属さない個人・有志での参加）のみ GKP で負担（但し、交通費は 1,000 円/日まで）する。



3. 交通費について

- ・委員会参加のための交通費は所属団体にて負担
 - ・各プロジェクト参加のための交通費はボランティア参加（法人・団体・自治体等組織に属さない個人・有志での参加）のみ GKP で負担（但し、交通費は 1,000 円/日まで）
- 事務局判断により、例外的に交通費・宿泊費を認める場合がある（都度協議）。この場合の規程も別途定める。

■理事懇談会 その他のご意見ご質問

<会員報告等について>

(質問)

- ・ 前回の理事会でも議題にのぼった会員報告は行われたか。

(回答)

- ・ 昨年の8月、実績報告を中心にメールで行った。今後は、具体的に下水道界にどのような効果をもたらしたのかなど、G K Pの成長を実感してもらえる報告書にしていきたい。

(意見)

- ・ コアになっているメンバーが誰なのかなど、現行の体制が会員に伝わっていないのが気になる。例えば、新しい企画を持ち込みたい時、誰に話せばいいのかが分からない。

<法人化について>

(質問)

- ・ G K Pはこのまま任意団体として続けるのか。

(回答)

- ・ 現状、そうした議論に手を付けられていない。引き続きの検討課題とさせていただく。

<持続可能な体制>

(質問)

- ・ さきほどG K P事務局は下水道協会のボランティアという話があったが、補助業務の委託も作業量に見合わない額で行われている印象がある。今後も今の体制で続けていけるのか。

(回答)

- ・ 下水道協会ではG K Pのほか 21 世紀の下水道を考える会の事務局を担っており、また、下水道協会独自の広報も行っている。これらはすべて共通の目標があるにも関わらず体制は縦に割れている。各団体の役割等を含め、下水道界全体の最適解が求められる中、G K Pもそうした議論に向き合っていきたいと考えている。
- ・ 全体の議論を経てG K Pが今後の下水道広報の核になるのであれば、21 世紀の下水道を考える会のお金をG K Pにまわすことも視野に入れてよいのではないか。
- ・ 人材については、民間企業から手弁当で下水道協会に人を出していただけると有難い。

令和 5 年度下水道広報プラットフォーム (GKP) 理事会 議事録

日時：令和 5 年 7 月 4 日（火） 13 時 30 分～14 時 40 分

場所：日本下水道協会 5 階中会議室

出席者：

<理事会>

長岡裕会長、中村靖副会長、渡辺志津男副会長、塩路勝久理事、小林由夏理事、秋山礼子監事、栗原秀人アドバイザー、神山守・東京都下水道サービス(株)代表取締役社長（オブザーバー）

<企画運営委員会>

堂菌洋昭委員長

<事務局>

鎗田篤治氏、深瀬翔子氏、中山勲

【議事】

(1) 長岡会長あいさつ

理事会および総会が久しぶりに対面で開催される運びとなり、GKP 本来のプラットフォームとしての役割が復活したと感じている。前回の理事会でも議題になった経営の健全化など、本日は GKP が直面している課題等について、忌憚のないご意見を賜りたい。

(2) 議長選任

事務局の鎗田篤治氏を議長に選任した。

(3) 議案審議（令和 5 年度定時総会への付議事項）について

- ・ 令和 4 年度活動報告および令和 5 年度活動計画について、堂菌企画運営委員長より説明した。
- ・ 令和 4 年度収支決算および令和 5 年度収支予算案、役員の選任について、事務局の鎗田氏より説明した。

<会員数の減少について>

- ・ 会員が減少している原因は何か。（長岡会長）

（事務局回答）

- ・ コロナ禍の影響もあってか、会費の未納が目立つ。ご案内の通り GKP は 2 年以上の会費滞納による自動退会が規定に定められており、今回は 55 名の個人会員がこれに該当した。もちろん、当人からご連絡をいただいた場合は、未納会費をお支払いいただいた上で復活の手続きをさせていただく。

<令和 5 年度収支予算案について>

- ・ 令和 5 年度は事業活動費が大幅に削られているが、これまでと同規模の活動ができるのか。活動内容を変えざるを得ないケースもあるのか。(小林理事)
(事務局回答)

- ・ 今回の予算の削減は、各プロジェクトの活動を変える主旨で行ったものではない。財政が厳しい中、GKP がめざす本来の取り組み（下水道事業の広報活動に直接寄与するもの）を推進するため、プロジェクト毎に改めて中身を精査いただいた結果である。

プロジェクトによっては、これまで予算を付けて行っていた作業をボランティアに切り替えるなど、さらに踏み込んで支出を削減していただいた部分もある。

(堂菌委員長回答)

- ・ これまでと同規模の活動ができるのかという点については、やはり規模を縮小せざるを得ないプロジェクトもあると受け止めている。

- ・ 毎年 10 万円規模で計上されていた水の天使の予算が令和 5 年度はゼロになっているが、もう起用しないということか。(小林理事)

(事務局回答)

- ・ 当該予算はこれまで、GKP の総会の進行をお願いする費用として計上していたものである。つまり、予算額をゼロとしたのは本年の総会での起用を見送ったためであり、GKP 全体として起用しない方針としたわけではない。

- ・ 令和 4 年度の事業活動費は、予算額 445 万円に対して決算額が 307 万円となっている。この差額はどのようにして生じたのか。仮にプロジェクトに対して節約を要請した結果であれば、令和 5 年度の事業活動費（310 万円）も最終的にさらに小さな額になる可能性があるということか。(塩路理事)

(事務局回答)

- ・ 令和 4 年度の予算額に対して決算額が小さくなったのは、事務局が節約の要請をしたからではなく、コロナ禍で活動を自粛せざるを得なかったプロジェクトチームが少なからずあったためである。令和 5 年度は、事業計画通りの活動をしていただく予定である。

(4) その他

- ・ GKP の収入の増加策の案について、堂菌企画運営委員長より説明した。

<収入増について>

- ・ 会費の値上げは、一部の企業の退会につながるのではないかと。会費以外の新たな収入を増やす努力をするべきである。(神山オブザーバー)

- ・ 企業の立場からすると、GKP が危機的な状況であることが伝われば、なんとかしてあげたいという気持ちになる。ただ、会社の規模はそれぞれ違うので、一律に負担額を増やしてもらうわけにはいかない。例えばプレミアム会員を創設するなど、新たなカテゴリー分け（公共団体枠、一般枠、プレミアム枠など）を考えてはどうか。この場合、同時に「褒める」（プレミアム会員を表彰するなど）ことも重要である。（中村副会長）
- ・ ホームページの上位にプレミアム会員の企業名を並べるなどの差別化の方法もある。また、今の団体会員一覧は五十音順であり、カテゴリー（業種）で整理されていないため、業界に詳しい人以外は分かり難い。これがカテゴリー別に整理されれば、団体会員の獲得に向けたセールストークにも活かせるのではないか。（小林理事）
- ・ 団体会費は現状一口 3 万円で、それを複数口払ってくれている企業がある。（栗原アドバイザー）
- ・ 会員をつなぎとめるためにも活動報告を定期的に出すことが重要である。（塩路理事）
- ・ 活動報告という意味では、総会資料の事業報告書が見やすいと思う。（栗原アドバイザー）
- ・ 会員個々が、自分たちも広報活動に関わっているのだという意識を持てるようにするには、ワッペンやバッジなどを配布するとよい。（秋山監事）
- ・ これから若い人たちに加わってもらおうという過渡期において、今を凌ぐことも大事だが、同時にこの会をいかに発展させていくべきかを考えることも重要である。（秋山監事）

（堂蘭委員長回答）

- ・ 理事会の皆様からいただいたご意見を踏まえて、何ができるのかを考え、行動に移していきたい。

（事務局回答）

- ・ 具体的な検討は企画運営委員会で行い、一定の整理がついた段階で改めて理事会にお諮りしたい。

以上

令和 5 年度下水道広報プラットフォーム (GKP) 定時総会 議事録

日時：令和 5 年 7 月 4 日（火） 15 時～18 時 40 分

場所：日本下水道協会 5 階大会議室

◇会員出席状況：

現会員数：個人会員 501 名、団体会員 138 団体

出席者 49 名（個人会員 30、団体会員 19）、委任状提出者 183 名（個人会員 124、団体会員 59）、合計 232 名（個人会員 154、団体会員 78）

この数は会員数 639 の 1/10 以上であり、規約第 14 条の規定による総会の定足数を満たすものである。

1. 長岡会長 開会あいさつ

コロナ禍が落ち着き、4 年ぶりに対面での総会を開くことができました。こうして皆様と直接お会いできることを非常にうれしく思います。

GKP は中央集権的に広報を進める会ではありません。現在 19 あるプロジェクトの担当者をはじめ、下水道を愛する人たちが自由に出入りし、交流・連携して下水道の広報を盛り上げていくことを主旨としています。

本日は総会後の懇親会も久しぶりに復活いたしましたので、ぞんぶんに語り合っていただければと思います。

また、リアルでご参加いただけない方にもオンラインでご視聴いただけるよう体制を整えました。

最後までお付き合いいただけますよう、よろしくお願いいたします。

2. 議長選任

議長に栗原秀人氏を選任。

3. 議事録署名人の選任

議長より、押領司重昭氏、白浜公平氏を推薦。承認。

4. 第 1 号議案「令和 4 年度事業報告について」

第 2 号議案「令和 4 年度決算報告について」

第 3 号議案「令和 5 年度事業計画（案）について」

第 4 号議案「令和 5 年度予算（案）について」

① 令和 4 年度事業報告と令和 5 年度事業計画案

堂蘭洋昭・企画運営委員長より令和 4 年度事業報告と令和 5 年度事業計画案を説明。

【令和4年度の事業報告】

＜対象・層の拡大＞

- ・下水道を未来につなげる会（未来会）
- ・インフラテクコン
- ・G K P チーム市民科学
- ・B I S T R O 下水道
- ・キッチン・バス連携
- ・G K P 広報大賞

＜目玉プロジェクト＞

- ・マンホールカード
- ・東京湾大感謝祭
- ・マンホールサミット
- ・エコプロ
- ・スイスイ下水道研究所（下水道展）
- ・早慶レガッタ

＜会員向けの活動＞

- ・コミュニケーション研究会
- ・わいがやトーク
- ・Fika（フィカ）

＜活動の地方展開＞

- ・G K P 北海道
- ・G K P 関西
- ・G K P チーム九州

【全体を代表して3つのプロジェクトリーダーからの報告】

＜下水道を未来につなげる会（未来会）＞

木更津高専のイベントで印象的な出来事があった。見学させていただく木更津下水処理場にご挨拶に伺った際、若い女性職員を紹介された。実はこの方は木更津市出身で、数年前に未来会のイベントに参加されたとのこと。その経験がきっかけで木更津市への就職を決めたと伺い、感激した。

＜マンホールサミット＞

マンホールサミット in 所沢は1万4,000人の方にご来場いただいた。第1回が300人であったことを考えると、大きな成長である。また今回の特徴として、過去最大のマンホール蓋展示、回遊性を高めた開催（重ね押しスタンプ）、トークイベントに初めて大学生が登壇、の3点が挙げられる。本年度は10月21日・22日に愛知県岡崎市で開催する予定。次年度は公募に手を挙げる自治体がなく、二次募集を含めて対応を検討する。

＜コミュニケーション研究会＞

個人会員・団体会員の交流を図るとともに、産官学の知恵を出し合いながら、よ

り伝わりやすい広報技術の習得などをめざして活動している。ここ3年間はコロナ禍の影響からリアルで集まるのが難しく、オンライン会議やYouTube配信などを活用した。コミュ研の代表者として同時に担当しているエコプロは、昨年度、4,300人の来場者を得た。本年度は12月6日～8日の開催決定を受け、実行委員会形式による企画検討を進めている。団体会員の皆様には引き続き、資金面での協力をお願いしたい。

【令和5年度の活動計画】

- ・下水道を未来につなげる会（学校イベント等を継続）
- ・インフラテクコン（下水道課題に挑戦するチームの増加をめざす）
- ・GKPチーム市民科学（発表会、情報交換会など実施）
- ・BISTRO下水道（じゅんかん育ちのブランディング等）
- ・キッチン・バス連携（川柳づくりを通じて流す先の自分ゴト化を推進）
- ・GKP広報大賞（11月頃の募集開始めどに広報大賞開催）

<目玉プロジェクト>

- ・マンホールカード（19～21弾発行、制作ルール見直し、新企画検討など）
- ・東京湾大感謝祭（来場者2,000人を目標に出展）
- ・マンホールサミット（来場者8,000人を目標に岡崎市で開催）
- ・エコプロ（来場者4,000人を目標に出展）
- ・スイスイ下水道研究所（8月の下水道展パブリックゾーンの運営に協力）
- ・早慶レガッタ（大会に協賛し、下水道の貢献を訴求）

<会員向けの活動>

- ・コミュニケーション研究会（フォーラム開催、団体会員企業の訪問など）
- ・わいがやトーク（年3回程度の開催）
- ・Fika（フィカ）（随時開催）

<活動の地方展開>

- ・GKP北海道（下水道展への企画・運営面での協力）
- ・GKP関西（GKP関西夏祭りの開催など）
- ・GKPチーム九州（福岡市や北九州市と連携した広報活動など）

② 令和4年度収支決算、令和5年度収支予算案

令和4年度収支決算、令和5年度収支予算案について、事務局の鎗田篤治氏より説明。

秋山礼子監事より、令和4年度の収支決算報告に相違ない旨、監査報告がなされた。

議長は、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認された。

5. 第5号議案 「役員の選任について」

事務局の鎗田氏より、役員の選任について説明。役員の任期は2年間。

(再任)

副会長	長谷川健司	管清工業株式会社代表取締役
理事	塩路勝久	公益財団法人日本下水道新技術機構理事長
理事	小林由夏	シニア広報コンサルタント

(退任)

副会長	渡辺志津男	地方共同法人日本下水道事業団理事
アドバイザー	諸富里子	環境コンセプトデザイナー

(新任)

副会長	神山 守	東京都下水道サービス株式会社代表取締役社長
-----	------	-----------------------

議長は、第5号議案を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認された。

(副会長を退任された渡辺志津男氏のあいさつ)

約4年間、副会長を務めさせていただきました。就任当時は東京都下水道サービスの社長という立場から貢献できることがそれなりにあったのですが、その後仕事が変わり、コロナ禍の影響もあってG K Pの活動に関われる機会が少なくなりました。そこで、この総会を機に退任を申し出た次第です。後任が東京都下水道サービスの神山社長ということで、心置きなく退くことができそうです。今後は個人会員として皆さまと一緒に活動をしていきたいと思っておりますので、是非、宜しくお願い致します。

(新副会長の神山 守氏のあいさつ)

副会長にご推挙いただきました神山です。渡辺・前副会長の意志を引き継ぎ、G K Pの活動に積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

6. 会員の意見・提案

- マンホールカードを1～2ロット発行して辞めてしまう自治体が目に付く。発行を辞めた自治体の名前もG K Pのサイト（発行一覧）に掲載されているので、ファンとしては集めたくなり、結果、高額な値がついて取引されている。少なくとも1年以上発行していない自治体や非協力的な自治体のカードはG K Pの一覧リストから削除していただきたい。また、新規発行する自治体に対して10ロット以上の発行あるいは5年以上の発行を求めるなど、カードファンを裏切らないルールづくりとその徹底をお願いしたい。

(堂菌委員長回答) 実態を踏まえて対応を検討していく。

- 3年前につくったB I S T R O下水道の曲「ビストロ ジーズ ソング」をイベント等で活用していただきたい。

YouTube : <https://www.youtube.com/watch?v=AxKHKpnnncI>

- 岡崎市民の上下水道に対する認知度アンケートに寄せられた声を共有させていただきたい。具体的には「上水道は必要だが、下水道のことは分からない」(30代)、「下水道の利用を強制され、後悔している」(50代)、「下水道使用料とは何ですか。よくわからないのにけっこうな金額を支払っている」(60代)。こんな辛口の意見が届いている。この現状を受け止め、岡崎市では本年度のマンホールサミットを下水道の正しい理解を広める良い機会としていきたい。皆様のお力添えをお願いしたい。

審議終了、閉会。

収入確保策の検討の進め方について（案）

◆ 検討の優先順位の考え方

① 既存の民間企業会員への協力金増のお願い

- ・褒めること（表彰等）をセットとしたプレミアム会員の創設（公共団体枠、一般枠、プレミアム枠などの枠の設定）など

② 収入増の検討

- ・サイト広告、その他

③ 新規会員の募集

- ・企業訪問、入会案内見直しなど

④ 永久会員の廃止

➤ 特に①、②について、優先して検討を進めたい。

※優先順位の考え方、実行する場合の問題点等について意見交換。

※なお、分析（新規入会の傾向、入会のきっかけなど）、会員メリットの拡大（会員交流の場の拡大など）についても上記と並行して検討する

◆ 今後の検討について

- ・ 9、10月に集中して議論し、遅くとも年内には具体のアクションに移す。
- ・ 参加いただける方については、後日、事務局（中山）あてにご連絡いただく。

◆ 参考

既存の会員への協力金増のお願いにあたって

- ・ 先日の理事懇談会での意見も踏まえ、以下について検討を進めたい。
- ・ 大規模な企業（※客観的な指標として中小企業法の対象以外の企業（出資金 3 億円以下 or 300 人以下でない企業や上場している企業等を想定。）に複数口の支援をお願いする。
(一口 3 万円。・ 138 社中、複数口は 7 社（2 口 4 社、3 口 2 社、5 口 1 社）)
- ・ お願いする金額（口数）については、持続性の観点から今後必要な経費と現在の収入から差額を求めて決める。